

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	「和みの散歩道」の場所等を周知する「標識看板設置」及び「のぼり旗作成」に取り組みたい		
団体名	和みの散歩道の会		
提案の活動を行う地域	都市計画道路「池内猪高線」高架下空間、田代学区及び高見学区における地域		
提案の内容	<p>平成25年5月に開通した池内猪高線の高架下空間は、市民と行政の協働で整備され、和みの散歩道の会や愛護会の努力により、空間としての魅力も向上し、散歩道として地域住民に親しまれるようになってきました。そしてこれまでの活動が、人にやさしいまちづくりに適合しているとして、「和みの散歩道の会」が愛知県知事賞を受賞しました。</p> <p>しかし、周辺や現地に地図や標識、表示等、「和みの散歩道」を示すものが何もなく、開通間もないこともあって、現地を訪ねても、そこが「和みの散歩道」であることに気づかない、訪れようとしても道のりや位置が分からないという実態で、名称も所在も近隣以外の人々には未だにあまり知られていません。</p> <p>このため、以下の取り組みにより、より一層人々に親しまれる空間として発展させ、多くの市民による地域交流とまちづくりを推進させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「和みの散歩道」の名称・位置を広く市民へ周知させたい（標識看板を作成し要所に設置する） ○ 看板のイメージ、のぼり旗のイメージ（案）（別紙参照） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>和みの散歩道</p> <hr/> <p>和みだんだん</p> <hr/> <p>和み小広場</p> </div>		
活動期間	平成27年4月～平成28年3月	助成金交付申請額	356,724万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動地域は、従来、閑静で緑豊かな住環境に恵まれていましたが、平成25年5月に高架式の都市計画道路が開通し環境が一変しました。 ・建設に当たっては、行政と地域住民の対立がありましたが、高架下整備にあたっては、市民と行政とで協議を重ね、鍋屋上野浄水場廃材赤レンガを活かした魅力的な散歩道の整備が協働により整備されたことで、信頼関係が回復しました。 ・ゴミの投棄や落書きの温床になりがちな高架下空間が、地域の負の遺産とならない活動に留まらず、積極的かつ創造的に誇りと愛着を持てる資源としていくことで他地域のモデルとして発展していくことが望まれます。 ・「和み・・・の会」は都市センターからの助成を糧に、この散歩道を地域住民の交流の場所として魅力と維持の向上に、努めて来たところです。 ・植栽の水遣りなどは地域住民が中心に活動中ですが、揚輝荘など多くの魅力資源のある城山・覚王山地区の一部として連携・協力も一層進んでいます。 ・覚王山日泰寺の西に位置し、池下・高見方面からもアプローチできる散歩道としてPRしていくためにも、所在を広く人々に知らせることが重要です。 ・しかしながら、春や秋のイベントに参加した人々から、「この場所が分かりづらく、何とかしてほしい。」との声が聞かれました。 ・このため、案内用の周知看板を要所に設置し、「和みの散歩道」の所在を広くアピールすることが求められています。
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか <p>・高架道路下の空間を花と緑と赤レンガ等で整備された散歩道で、春と秋の年2回、「ザ・和みの散歩道祭」を開催しています。100m以上続くコンクリート擁壁や赤レンガ道をギャラリーに模様替えし、写真・絵画・彫刻・生け花・陶芸等を展示し、コンサート・ワークショップ・野点などを行っています。このような活動で、無機質で威圧感のある高架道路の鉄骨やコンクリートでできた巨大構造物の印象をなくし、高架下を楽しく魅力的な空間へと変貌させています。そして高架下空間の持つ可能性を見出した一つの好例となっています。</p>
時期	活動内容
平成27年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 平成28年1月 2月	春のイベント開催(4月26日(日))、和みの散歩道の会定期総会 名古屋市土木事務所と看板設置等折衝 看板等デザインの素案作成 看板等作成外部発注 看板等作成と設置工事施工 秋のイベントに向けた打合せ及び諸準備 秋のイベント開催(10月25日(日))、秋のイベントの反省会 春のイベントに向けた打合せ及び諸準備 活動報告とりまとめ、定期総会に向けた諸準備

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

工 事 目 に ○	活動項目	内訳		金額(円)
○	(1)案内看板設置	表示板作製 のぼり製作 表示板設置 消費税	作製費 製作費 施工費	93,800 176,500 60,000
	(2)和み祭開催	和みの散歩道祭	開催経費	26,424 90,000
計		都市センター助成金 自己資金(注)	356,724円 90,000円	446,724
「提案したまちづくり活動に係る経費」のうち工事にかかる経費 60,000円 ←				

審査基準④ 発展性
 ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
 ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・東山給水塔、日泰寺、揚輝荘、城山八幡宮など多くの魅力資源の存在する千種区城山・覚王山地区の一部として、高架下散歩道が案内看板設置により多くの市民に周知され定着することで、交流の輪が広がっていきます。
- ・さらに、地域委員会がきっかけに展開され始めた高見学区のまちづくり活動ともつながります。
- ・「和みの散歩道」は田代学区と高見学区の境に位置するからこそ、広域的なまちづくり活動への発展のカギを握っています。
- ・以前行政と対立していた経緯がある場所でもあり、参加をためらっている地域住民も存在すると思われませんが、公的な助成を受けることで、安心して参加していただけるようになり、地域のまちづくり活動へとつながります。

審査基準⑤ 活動実績と主体性
 ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
 (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
 ・具体的にどんな熱意を注いでいるか
 ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

- 平成25年4月 高架下空間を誇りと愛着が持てる資源として発展させるため、市民団体「和みの散歩道の会」を設立。
- 現在会員数は200余名であるが、会の趣旨(会則)に賛同し入会希望者は全市に広がっています。
- 春と秋にはイベントを開催し、地域の魅力アップに努めています。
 - ・25年9月 「和みの散歩道まつり - アートと史跡散策 -」を開催 = 陶芸、絵画、写真等120点を展示
 - ・26年3月 「和みの散歩道 - 音楽とアート、まちあるき」を開催 = まちあるきに80名が参加
 - ・26年9月 「ザ・和みの散歩道祭 - アート、コンサート、つくろうマイマイハウス -」を開催 = 35組の親子が参加
 - ・27年4月 「ザ・和みの散歩道祭 - 高架下コンサート、アートと野点 -」 = 子ども茶道体験教室に26人が参加
- 平成27年3月 愛知県知事から「人にやさしい街づくり賞」を受賞。
- 将来的には、健康・文化・芸術の交流の散歩道として発展させます。